

## 富高ゼミ

本校の教育活動の柱となっている総合的な探究の時間で行われる「富高ゼミ」。学年をまたいだ9つのグループに分かれた、探究活動となります。異学年との共同作業の中で、思考力・対話力・協働力・課題発見能力などを発揮し、探究テーマ決めから発表まで行いました。

今年のテーマは「マスクによって顔の印象はどう変わるのか?」や「最強の動物は何か?」、「若者と中年の境界線はどこにあるのか?」など、バラエティに富み、発表のやり方を含め、各グループの個性が見られました。ここでの経験を次の探究活動に繋げていきます。



## 学校生活の様子

富川高校では様々な活動の中で、日々生徒は成長を続けています。美術部は高文連大会に9点出品し、うち2点が優秀賞を受賞しました。吹奏楽部は日胆地区吹奏楽コンクールにおいて、32年ぶりに金賞を受賞、また高文連大会でも最優秀賞を受賞し、高文連の全道大会への出場が決まりました。バドミントン部は女子シングルスで北海道バドミントン選手権大会において、全道でのベスト16という好成績を収めました。

コロナ禍ではありますが、万全の感染予防対策の中、行われた体育大会では、生徒一人ひとりが躍動し、活気あふれる時間となりました。

今後も引き続き、感染予防と学校生活の充実を両立し、教育活動を行っていきます。





## 富高祭終了

## 『一人ひとりが主役になれる学校』

7月20日(火)～21日(水)の2日間、富高祭を実施しました。コロナ禍のため、保護者を含め外部からの観客を入れず、活動を校内に限定して開催しました。今、やれることを生徒一人ひとりが、確実に行動していくことで、大変充実した富高祭となりました。初日は生徒会による企画や、各クラスによるアトラクション発表、グラウンドで行灯行列を行いました。2日目はHR企画、各クラスの合唱、文化部発表として吹奏楽部・書道部が、それぞれパフォーマンスを披露しました。

行灯製作・垂れ幕制作・アトラクション発表・HR企画・合唱の活動以外にも、担当箇所の準備や片付けで大忙しの富高生ではありましたが、学校行事ならではの、級友との活動から得られたものが多くあり、その瞬間の体感が、一人ひとりの成長に繋がったかと思います。

次年度、コロナ禍が落ち着いていれば、多くの方々に見ていただきたい富高祭！3年生が示してくれたクラスの取り組みを、1, 2年生が発展させ、開催できますように。



## 1 日体験入学

## 『高校を知り、来春に繋がる時間に』



8月24日(火)中学生を対象とした1日体験入学を開催しました。日高管内の中学3年生、約90名が参加し、全体会で、本校の教育活動について、教員と生徒会役員から説明がありました。また、3年間、富川高校で学んだ卒業生の声を映像で紹介し、社会に出て求められていることや本校で身につけられた力を伝えてもらいました。会場には、来年度改定する新制服と新ジャージも展示されました。

全体会後は、希望した体験授業に参加し、日頃の富川高校の様子を肌で感じてもらいました。